

通信教育部入学式式辞 2013年 4月 14日 尾池和夫

京都造形芸術大学芸術学部通信教育部に入学、あるいは編入学された、芸術教養学科、芸術学科(芸術学コース 歴史遺産コース 文芸コース 和の伝統文化コース)、美術科(日本画コース 洋画コース 陶芸コース 染織コース 写真コース)、デザイン科(情報デザインコース 建築デザインコース ランドスケープデザインコース 空間演出デザインコース)、以上 1462名、大学院芸術研究科修士課程(通信教育)芸術環境専攻(芸術環境研究領域 芸術環境研究領域 美術・工芸領域、環境デザイン領域) 84名、合計 1546名の皆さん、入学まことにおめでとうございます。

ご来賓の方々、列席の瓜生山学園の役員、副学長、学部長、研究科長、その他のすべての教職員とともに、皆さんの入学を心からお祝い申し上げます。新入生の皆さんは、日本の各地から、瓜生山にある京都造形芸術大学を学習の場を選んでくださいました。入学申込みの締め切りはまだ終わっておりませんから、今申しあげた数字は、さらに増えますが、この大学を選んでくださったことに、改めてお礼を申しあげるとともに、入学式を迎えられたことを、心からお祝いいたします。

この日を迎えるまでに、皆さんはそれぞれに、さまざまの経験をして来られました。さらにこれからの夢をそれぞれに抱いて、ご自分の未来に、あるいは人類の未来に、さらには地球社会の未来に思いを馳せていることと思います。ご家族の方々もそれを支援して、協力を惜しまず、祝福しておられることと思います。

各地から集まって来られた皆さんを、京都盆地の桜が迎えています。京都市は京都盆地という、三方を山に囲まれた土地にあり、その東の端に瓜生山学園があります。彼岸桜や染井吉野はすでに散って葉桜になり、紅しだれの一部の花が残花で、また牡丹桜が満開となり、御室の桜はこれから咲くというように、皆さんを迎えています。桜は、春には花、夏には緑豊かな木陰を作り、秋には桜紅葉で彩り、冬には葉を落として陽の光を地上に届けます。そのような京都盆地には、1300年の悠久の歴史があり、世界遺産が保存されています。入学式に参加された皆さんは、その足で世界遺産の街をご覧いただきたく存じます。

どのような分野の仕事をしていても、物を見るということが重要です。目で見ただけではなく、五感を、あるいは第六感も動員して、ひたすら見つめます。私は俳句を詠みますが、その俳句は、ひたすら観察して授かるものです。人は空を見上げるとき、素敵な笑顔になります。人は地下を見おろすとき、心配そうな顔をします。人は人を見るとき、さまざまな顔をしてメッセージを発信します。人は過去を見るとき安心し、人は未来を見ようとして不安になることがあります。人はウェブサイトを見るとき、何かを学ぼうとします。このように、見るという行為が毎日の生活の中で自然に行われています。見つめていると発見があり、それが新しい唯一無二の作品を産み出すことにつながります。

私たちは、毎日さまざまな出会いを経験します。異分野の出会いが重要です。世代を超えた出会いが重要です。科学と映像の出会いが重要であり、技術と芸術の出会いが重要です。ゼブラフィッシュは透明な魚で、大量に、しかも楽に育てられる魚です。その特性からよく遺伝学の研究に使われます。カルシウムプローブで脳の機能を可視化した中井淳一さんの技術が見事です。脳細胞の一つひとつを見ることができるようになりました。いずれ人類の芸術活動は、脳細胞のどのような活性化で実行されているかを私たちは知ることができるようになるでしょうが、そのような先端科学の研究には、芸術の分野と科学の分野にいる優れた人材が会えることが重要です。その出会いの機会を作るのが、科学の分野からこの大学に来た私の役目だと思っています。

ヒトゲノムDNAは、30億の塩基から構成されており、伸ばすと3メートルほどになります。これが折りたたまれて存在しています。その1対がヒストンというタンパク質に巻き付いているという構造が見えています。必要なときには、必要な場所がスイッチオンの状態になります。生物はどのようにしてこの情報を解読しているのかということも石川冬木さんが考えています。DNAはフラクタル構造ですが、いかにして安定に次世代に情報を継承するのか。その中で、いかにして人が「学ぶ」という高次の生命現象を実行しているのか、このような課題に、芸術の分野で活動する人たちと生命科学の分野で活動する人たちとの連携によって果敢に挑戦する、そのような大学に、この京都造形芸術大学が成長して欲しいと私は願っています。皆さんも、そのような挑戦に、学生としてぜひ参加してくださいようお願いします。

私はこの4月に学長に就任しました。すばらしい大学で、今日入学式を迎えられた皆さんと歩調を合わせて、芸術立国を目標に仕事を始めました。先日、卒業制作展を詳しく見て廻りながら、あまりにも見事な作品群に圧倒される思いでした。実は、正直に明かしますが、私もひそかにこの通信教育部に申し込もうかと思っていたのです。しかし、その作品群を見て、少し延期して、学習を深めてから出直すことにしたのです。

また、通信教育部の卒業式にも参加しましたが、そこでは最年長、92歳の卒業生を理事長が舞台上に呼ばれて、その方の生き方を見習って、自分も頑張ると言われました。100歳を過ぎて暮らす時代に皆さんはいるのです。個人は老化し、人類も老化していきます。種の老化は宿命的で、いずれ絶滅の時期を迎えます。しかし、その中で芸術はますます進化しながら作品を残します。

地球は、たとえ人類が絶滅しても、まだまだ今後50億年以上元気にしています。私たちは、人類の絶滅のあと、次の何かが発掘調査した時、感心するような美しい化石を地球に残すことが大切です。多毛作の人生を送る時代の老人の85パーセント以上が元気な老人たちという日本です。そこで美しい化石となる立派な作品を残してくださいよう期待して、私のお祝いの言葉といたします。

皆さんの大いなる挑戦を楽しみにして、私もこのキャンパスの中で、皆さんのご活躍を見守っています。

京都造形芸術大学への入学、まことに、おめでとうございます。

ありがとうございました。